



2011年12月4日

# いま起きつつあること…

福島第一原発から24kmのところに日本基督教団原町教会（聖愛保育園併設）があります。現在原発から最も近いところで主日礼拝をささげている教会もあります。今回のかわら版は、原町教会の朴貞蓮牧師からのお便りを紹介します。

## 祈りに支えられて

皆様、いかがお過ごしでしょうか。目を上げると空はすっかり秋模様になっていて季節の巡りを感じます。秋の空がこんなにも蒼く、しうい雲がいつもより映えて見える

福島第一原発から24kmのところに日本基督教団原町教会（聖愛保育園併設）があります。現在原発から最も近いところで主日礼拝をささげている教会もあります。今回のかわら版は、原町教会の朴貞蓮牧師からのお便りを紹介します。

## 福島原発近くの原町教会から

ことを改めて知りました。美しいばかりの秋空と想います。が、一端視線を下に向けますと、そこにはまだ地震・津波の爪痕や原発事故によって変わり果てた光景が鋭利な刃物のよう胸に刺さります。

原町教会は皆様のお祈りに

支えられ、毎週礼拝を守っています。礼拝は平均20名ほどとなり、出席人数は前年度並みとなりました。しかし、外から応援に来てくれるお客様の人数もかなり入っています。9月10日（土）は原町にいの子どもたちに何か楽しみなことができるのかと思い、教会主催で「夕涼み会」を行いました。他の園の子どもたちも遊びに来てくれたり、地域の方々も久しぶりにここで

## ようやく行えた保育園の卒園式

保育園では10月9日（日）、

礼拝後1時30分から2010年度の卒園式を礼拝堂で行いました。小学校で1学期を過ごした子どもたちはすっかり成長していく保育園の卒園式

ボランティアに支えられた除洗

子どもたちの笑い声が聞けると楽しみに来てくれたりして盛況に終えることができました。教会の婦人会はフードコナーのために朝早くから勞してくれて、保育園の先生た

ちは保育をしながら時間を割いて準備に力を尽くしてくれました。教会がこれからもこの地域のために祈りつつ、希望の種として生き続けられるようお祈りください。

また、教会員の中には癌のため手術を控えている人や癌の手術受けて間もない人たちもあり、一人一人の健康を祈っています。散らされています。教会員、避難を強いられて共に暮らすことのできない教員の家庭が主によって守られるようにとお祈りください。

卒園式と祝会の後はお互いお別れを惜しみながら帰ろうとしませんでした。わたしには初めて顔を合わせる子どもたちの卒園式なので泣かないだろうと思っていましたが、泣いてしまいました。

卒園式に先立つて9月30日（金）の夕方、正式に緊急時避難準備区域の指定が解除されました。それに伴い原町での保育園再開も可能となりました。

指定解除については7月か

ました。

24名の卒園児の内、19名が

出席しました。中国やアメリカに帰国した子どもたちは夏休みの時期でないため来るこ

とができませんでした。中に

は原町に入ることを心配した親御さんの判断で参加できなかつた子どももいます。卒園

児のほとんどが避難中のため、卒園式と祝会の後はお互いお別れを惜しみながら帰ろうとしませんでした。わたしには初めて顔を合わせる子どもたちの卒園式なので泣かないだろうと思っていましたが、泣いてしまいました。



2011年12月4日

# いま起きつつあること…

ら既に検討していることを  
知つていましたので、今が今  
かと待つていました。解除の  
日を待ちながらも安全・安心  
にはまだ程遠い状況なので複  
雑な思いでいました。ついに  
解除となり、10月11日に原町  
での保育園の再開を迎えまし  
た。除染のために頑張ったこ  
と、たくさんの方々に助けら  
れたことを思い出します。

同じ敷地内にある教会も除染を行わなければならなかったため教会員の方にも無理を強いてしましました。日白教会の青年たち、カソバーランド長老会の牧師たちのボランティアに支えられ教会の除染も何とか行うことができました。

30km圏内ということで、ボランティアをお願いしながらも申し訳ない気持ちでいました。実際、東北教区からはボランティア活動をするに安全ではないためと断れてしましましたので、より一層来てくださいました方々や送り出してく

表土の除洗以外は  
自腹で

ところで、除染の結果は場所によつて様々ですが、礼拝堂はお陰様で  $0.1 \mu\text{sv}/\text{hr}$  台に下がりました。園庭も表土を剥いでやつと空間線量が  $0.1 \sim 0.2 \mu\text{sv}/\text{hr}$  台になりました。剥いだばかりで埃が舞いやすくなりましたので、部分的に新たに芝生を植えることにしました。お部屋もすべて  $0.1 \mu\text{sv}/\text{hr}$  台まで下がりました。これを行つしかありませんので、本当に気が遠くなります。

市では除染への積極的な呼びかけをしていますが、必要

ださつた。家族の皆さん、諸教会には言ひ尽くし得ない感謝の気持ちでいっぱいです。ボランティアは断られても仕方がない」とだと諦め半分でお願いしたのですが、いざ断れると何日間かは落ち込みました。

## 大きな課題を抱えての保育

全額補助となつたことをもつてこられました。一方側の乱暴な受け止め方かも知れませんが、支出するはずだった半分が浮いたのだからそれでコンクリートの除染に当てれば良いということでした。“そんなバカな！”

## 大きな課題を抱えての保育

10月11日、再開時の園児は35名です。現在は39名となりました。その内8名は30km圏外で保育を行つていた時、定員オーバーで自分たちの地域

経費に関しては前向きな返事をしてくれません。表土を剥ぐこと以外はすべて自腹です。問い合わせた園の職員も引き下がれず粘つてみましたが、結果は変わりませんでした。市の職員の返事は、当初の方針では民間には表土を剥

と共に生きる人」とモットーにしてきた自分たちの保育が今まで通りにはいかなくなつてしましましたのでどういう風に保育を展開していくのかが最大な課題となりました。

子どもたちの成長と健康のために知恵を絞りだし、話し合いを重ねているところです。引き続き子どもたち、先生たちの健康もお祈りの内にお覚えくださいると力づけられます。

◆

皆様と御教会の上に主の祝福が豊かにありますようお祈りいたします。

の保育園に入れなかつた子どもたちです。空く次第転園する子どもたちです。原町での再開に当たり休業中の9名の職員に復職を呼びかけたところ6名が退職願いを出し、3名が戻ることになりました。それで職員は12名となりまし